

2025年3月期決算発表 補足資料

2025年4月28日
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は2024/10公表値

	2024年3月期 ※ 通期		2025年3月期 通期		前期比	2026年3月期 通期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比		見通し	構成比		
売上高合計	5,789	100%	6,200	6,195	100%	+7%	6,300	100%	+2%
<海外売上高合計>	<4,463>	77%	<4,838>		78%	+8%	<4,900>	78%	+1%
営業利益 (率)	664 (11%)		780 (13%)	812		+22%	750 (12%)		△8%
エンパイロメント事業 ("EN事業")	3,907	67%	3,920	3,904	63%	△0%	3,710	59%	△5%
営業利益 (率)	646 (17%)		670 (17%)	683		+6%	590 (16%)		△14%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	1,382	24%	1,680	1,716	28%	+24%	1,940	31%	+13%
営業利益 (率)	23 (2%)		120 (10%)	172		+652%	210 (11%)		+22%
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	500	9%	600	576	9%	+15%	650	10%	+13%
営業利益 (率)	△5 (-)		△10 (-)	△42		-	△50 (-)		-

	売上高比	前期比	売上高比	前期比	売上高比	前期比
経常利益	630 11%	+24%	740 13%	+24%	700 11%	△11%
親会社株主に帰属する 当期純利益	406 7%	+35%	530 9%	+35%	550 9%	+0%
ROE	6.1%		7.8%		7.6%	
1株当たり純利益	133.65円		185.96円		187.65円	
配当金(配当性向)	50円(37.4%)		60円(32.3%)		66円(35.2%)	

為替レート(円/USD) 144 152 135
 為替レート(円/EUR) 157 164 155

設備投資	473	8%	488	8%	+3%	680	11%	+39%
減価償却費	568	10%	573	9%	+1%	570	9%	△1%
研究開発費	316	5%	296	5%	△6%	360	6%	+22%

2025年3月期 実績 ... **前期比 増収・増益 売上高は過去最高を更新**

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【EN事業】 ... 減収・増益
 ・自動車関連 ... 為替円安のプラス効果も、中国や東南アジア、欧州の市況悪化により、売上減少。コストダウンや売価改善等により、営業利益は増加。

【DS事業】 ... 増収・増益
 ・HPC ※ ... 為替円安及びAI用途の半導体需要増に伴い増収増益。
 ・電子デバイス ... データセンター投資が旺盛でハードディスクドライブ用圧電素子の需要増の一方で、絶縁放熱回路基板の生産能力増強に伴う先行費用増や、パッケージの低迷継続などにより、増収減益。

【E&I事業】 ... 増収・赤字継続
 ・ガイシ ... 国内外のいいし需要は堅調に推移。為替円安影響も加わり増収増益。
 ・エナジーストレージ ... 需要の拡大を見込んだNAS[®]電池は、海外案件の減速に伴い生産体制を見直し、在庫の評価減も計上した結果、赤字が拡大。

② 為替影響 ... 売上高+163億円、営業利益+84億円
 (前期144円/USD→当期152円/USD、157円/EUR→164円/EUR)

③ 特別損失 ... EV化の進展の遅れにより事業計画に大幅な遅れが見られる絶縁放熱回路基板や赤字が継続するパッケージ等について減損損失58億円を計上したほか、取引先との合意に基づき補償損失30億円を計上。

※ HPC…半導体製造装置用製品

2026年3月期 見通し ... **売上高は25年3月期の過去最高更新を目指すも、為替円高、米国関税政策影響により減益**

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【EN事業】 ... 減収・減益
 ・自動車関連 ... トラック、オフロード需要の回復や売価改善を見込むものの、為替円高によるマイナス影響や関税政策に伴う費用増等を織込み、減収減益の見通し。

【DS事業】 ... 増収・増益
 ・HPC ... AI半導体需要の増加により増収。関税政策による直接的な影響は限定的との想定から増益を見込む。
 ・電子デバイス ... データセンター投資が堅調に推移しており、ハードディスクドライブ用圧電素子需要は安定的に推移するものの、為替円高影響や品種構成変化等により増収減益の見通し。

【E&I事業】 ... 増収・赤字継続
 ・ガイシ ... 国内外の電力関連投資は堅調も、閉鎖を決定している知多工場の物量減少等により減収減益の見通し。
 ・エナジーストレージ ... 国内案件を中心に出荷は増加するものの、先行きの需要減速のため工場の一部工程を停止。赤字が継続する見通し。

② 為替影響
 ・前期比 ... 売上高 △330億円、営業利益 △131億円
 (前期152円/USD→当期135円/USD、164円/EUR→155円/EUR)
 ・年間1円当たりの円安影響 ... USD (売上高+16億円、営業利益+6.8億円)
 EUR (売上高+7億円、営業利益+1.4億円)

③ 関税影響 ... 当社の商流および品目から想定される追加関税として、営業利益に50億円のマイナス影響を見込む。

④ DKNM社の株式取得 ... 2025年2月に、ドイツDeutsche KNM GmbH社の株式取得について合意。買収完了に向けた手続きを進めているが、今回の業績見直しには未反映。

⑤ 営業外費用 ... 23年3月に閉鎖を決定した南ア子会社(自動車関連製品)の清算完了を当期に予定しており、円換算に使用する為替レートの差から生じる「為替換算調整勘定」37億円を営業外費用として計上予定。

⑥ 配当予想 ... 中間33円、期末33円の年間66円の増配予定。(2022年度66円の過去最高と同額)

※2025年3月期の期首より事業セグメントを変更しています。
 この変更に伴い2024年3月期の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。
 産業プロセスをエネルギー&インダストリー事業("E&I事業")からエンパイロメント事業("EN事業")に移管しています。

〔セグメント間売上消去後〕

	2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 2,829	100%	億円 2,984	100%	億円 3,100	100%	+4%
<海外売上高合計>	<2,205>	78%	<2,348>	79%	<2,400>	77%	+2%
営業利益 (率)	325 (11%)		397 (13%)		330 (11%)		△17%
エンパイロメント事業 ("EN事業")	1,933	68%	1,923	64%	1,840	59%	△4%
営業利益 (率)	323 (17%)		353 (18%)		260 (14%)		△26%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	661	23%	791	27%	940	30%	+19%
営業利益 (率)	7 (1%)		53 (7%)		100 (11%)		—
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	235	8%	269	9%	320	10%	+19%
営業利益 (率)	△5 (-)		△9 (-)		△30 (-)		—

		売上高比		売上高比		売上高比	前年 同期比
経常利益	289	10%	384	13%	295	10%	△23%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	6%	259	9%	190	6%	△27%

為替レート(円/USD)

141

152

135

為替レート(円/EUR)

154

165

155

設備投資	234	8%	219	7%	350	11%	+60%
減価償却費	278	10%	285	10%	280	9%	△2%
研究開発費	145	5%	140	5%	170	5%	+22%